

令和4年度 公開授業が開催されました

11月に2名の先生のご協力により、公開授業を2回開催いたしました。前年まで、感染症の拡大等に伴い、公開授業の中止・オンライン開催と続いておりましたが、今年度は実際の授業を拝見することにより、教員の様々な工夫・問いかけ・学生の主体的な学びの様子…様々な観点から学ぶことのできる実り多い時間となりました。授業の公開を快くお引き受けくださった、小澤先生・クリスマス先生、ありがとうございました。当日の授業の様子とご参加くださった皆様からのご意見の一部をご紹介します。

なお、FD委員会では引き続き、教員相互の学びのための公開授業をすすめてまいります。ぜひ多くの先生方に、授業公開・参加していただけますようお願いを申し上げます。

第1回

【日時・場所】11月9日(水) | 限 コモンズ3号館5201教室

【教職員参加者数】7名

【授業科目】公的扶助論

【担当教員】人間生活学部子ども学科 小澤薫准教授

【対象学科・学年】人間生活学部子ども学科 3年生

【テーマ】第6回 生活保護の基本を理解する(保護の原則)

【授業概要:担当教員より】

第5回は生活保護制度の根幹となる基本原理の考え方について学んだ。今回は、生活保護制度の運営の原則となる考え方について学ぶ。基本原則は生活保護法第7条から法第10条に定められており、「申請保護の原則」「基準及び程度の原則」「必要即応の原則」「世帯単位の原則」と呼ばれている。事例をもとに、原則における考え方と実践について検討し、理解を深める。

【当日の授業概要】

学生の意見や質問等を盛り込みながら前回の復習からスタートし、本日のテーマの説明・解説ののち、教員から提示された問いについて学生が数人のグループで話し合いを行いました。さらに、課題のある事例を提示し、学生たちはその事例の問題点等について話し合いました。実際に人の命が奪われた事例であり、学生たちは、適切な考え方をもって支援することの重要性について、主体的かつ具体的に考え理解を深めていました。

参加者アンケートより

*事例を学生に考えさせ、そして事例の結果をレジュメに入れずに、最後に学生に見せるというテクニック、衝撃的で、とても素晴らしいと思います。

- *学生の質問を促したり、授業内容（相談者の結末の衝撃）を工夫したりされていますので、とても勉強になりました。
- *今日使われた討議のための材料は、悲惨な結果を伴った実物教材であったため、学生によりインパクトを与えたのではないかと思った。教材選択の重要性をあらためて意識し、授業の準備をしたい。
- *日本語の授業を体験できるのでとてもいい体験でした。

第2回

【日時・場所】11月28日（月）2限 コモンズ3号館5201教室

【教職員参加数】8名

【授業科目】CLIL I

【担当教員】国際経済学部 Christmas, Julia 准教授

【対象学科・学年】国際地域学部／国際経済学部 1年生

【テーマ】Researching, Interpreting, and Presenting data in English
(economic and human development, and standard of living)

【授業概要：担当教員より】

In this Content and Language Integrated Learning course, in addition to the English language and content, one aim in the course is for students to learn how to research, interpret data, and present findings. The topic of today's class is factors that help us determine the level of economic and human development, and standard of living in a country. The flow of the lesson: 1) Group research 2) Slide preparation (4-5 factors) 3) Analysis of factors 4) Presentation of analysis

【当日の授業概要】

本日の授業の流れや課題について構造化された指示がスライドにて示されており、学生たちは見通しをもって学ぶことが可能でした。グループ課題として、人間開発指数（HDI）国別ランキングに基づき、各グループに割り当てられた国に関して調べ、分析し、それらについて英語を用いてまとめ発表準備を行いました。その後、2グループずつペアになってそれぞれの調べたことを互いにプレゼンテーションする時間が設けられました。学生たちはそれぞれの課題について積極的に話し合いながら主体的に取り組んでいました。

参加者アンケートより

- *Students were thinking and performing in English in the class. They also learned how to compare, analyze and discuss the data using English. There are great.
- *It's good to see that students were actively engaged throughout the class and were able to learn multiple skills in one session.
- *オンライン教材を使いこなしていると思いました。学生の演習に向けて、指示、作業などすべてが構造化されていて、学生にとって非常にわかりやすいと思いました。